
たゆまぬ恋、は盲目的。

敷布団

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

たゆまぬ恋、は盲目的。

【Nコード】

N3835BA

【作者名】

敷布団

【あらすじ】

僕ら四人は幼い頃から、いつも一緒だった。何をするにも、どこに行くにも、みんな一緒でないと意味がなかった。

まるで僕らは一つでも欠けてしまったら、完全じゃなくなるジグソーパズルのようだった。

いつからだろう、一人だけ女の子が混じっていることに気がついたのは。それから、彼女は僕らの中心になっていた。

彼女は僕らの毎日を照らしてくれた。光輝く一番星のように。全てが順調だった。そう思っていたかった。

でも、そんな僕らとは裏腹に、彼女の目は急速に光を失っていった。

恋は盲目。世は情け。

世の中目に映るものだけが全てじゃない。

僕らにそれを教えてくれたのは、まぎれもない。

――彼女本人だった。

<プロローグ>

人は皆、自分だけの世界を持つてる。それは時に自分勝手だと罵られたり、マイペースだとからかわれる。

誰しもが持つているはずなのに、それを周りに知られることを恐れている。なぜなら、周りの人々と同じ世界を共有することに徹し続けているからだ。はみ出しものは嫌。それは至極当然の考えなのかもしれない。

だが、彼女は違った。

彼女は自分の世界を広げていったのだ。周りにいた人々をあつとゆう間に取り込んでいく不思議な世界。僕らは彼女の世界にどんどん引き込まれていった。でも、それは不快ではなく、心地よい充実感で満たされていた。

一人で自分勝手な世界だと思われるなら、二人の世界を作ればいい。二人が駄目なら三人で手を取り合えばいい。それでも駄目ならみんな巻き込んでしまえばいい。

これは、そんな彼女と僕のたゆまぬ恋の物語。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3835ba/>

たゆまぬ恋、は盲目的。

2012年1月9日23時53分発行